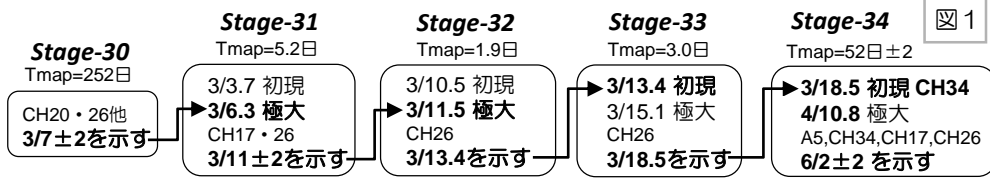


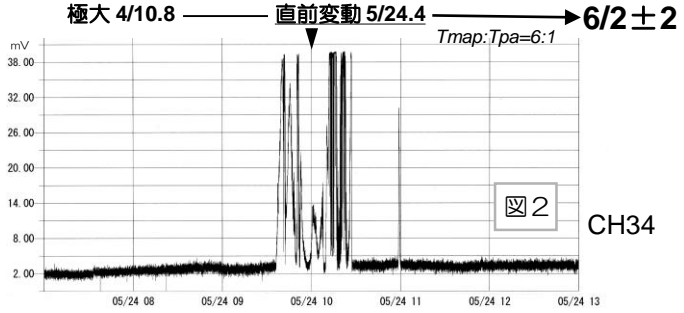
※首都圏直下・南海トラフ等大地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、№1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。№1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。№1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様に№1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。№1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

№1778 17年11ヶ月継続長期継続前兆変動 続報 前号報告の変動変化認識は誤り
A5・CH34 に直前変動の可能性観測 正しい場合 → 6/2±2 対応地震発生の可能性

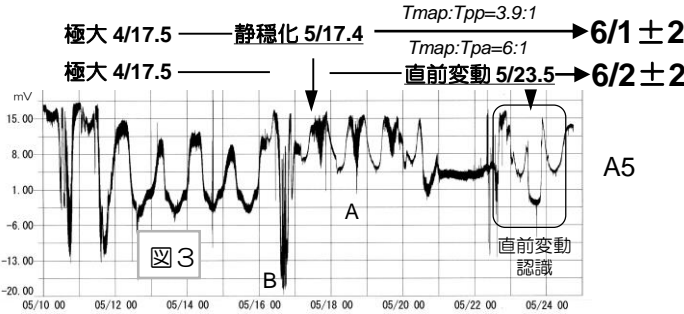


※№1778は地震発生が推定された時期（通常の場合は地震発生）に次の変動の極大や初現が出現し次Stageに移行する現象が17年8ヶ月の間に30回続いた。数百日単位のStageが本年3月からは数日単位で同様な変化でしたが、Stage-34は52日±2となる可能性を示す模様。

◆図2は八ヶ岳のCH34基線です。基線から上向きの特異変動が、4/10.8に極大として観測されましたが、同じ形の変動が、5/24.4中心に短時間出現致しました。直前変動の可能性が考えられます。この関係からは 6/2±2 対応地震発生の可能性が示唆されます。

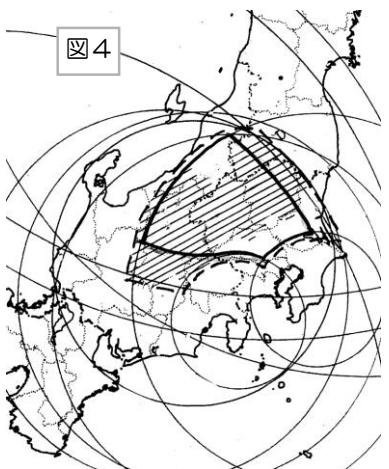


◆図3は秋田観測点のA5基線です。前号ではAの部分直前変動の可能性としましたが、5/16.5～17.0のBの変動は明らかに5/11までに出現していた変動と同じ形で、5/17.4までが変動期間(Taa)であり、5/17.4で静穏期に入ったと改めて認識します。5/22.5～24.5期間（口で困んだ部分）の特異変動（中心=5/23.5）は直前変動の可能性が高いと認識されます。極大 4/17.5 との関係からは 6/2±2 対応地震発生の可能性が示唆されます。



◆前述の認識が正しい場合は、6/2±2に№1778の対応地震発生の可能性が示唆されます。6/5迄に発生がない場合は再考し続報させて頂きます。また6/5迄に現在の推定を覆すような変動が観測された場合も続報で報告させて頂きます。2008年7/4から観測されたし、まもなく17年11ヶ月継続となる №1778変動群ですが、初めて体験する長期変動のためわからないことだらけで、現在までに明らかとなった経験則を使用しましたが、現推定に自信はありません。実際と大きく違った場合はお許しください。

- 推定領域：図4の点線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で考えやすい
（太線領域内＝可能性が考えやすい・参考）
- 推定規模：M8.0±0.3 (M7.7～M8.0の可能性高い)
または 複合地震
複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で合計で110～150km程度となる様な複合地震活動の可能性
（例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等）
- 推定時期：6月2日±2 （最大誤差±3日）
※但し現在の認識が誤りである場合は今後の観測で再検討予定



- 推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
- 推定発生時刻：午前8時30分±2時間 or 午後6時±3時間
（複合地震では当てはまらない）
- ※本日迄火山噴火型変動は観測されていないため、地震に伴う近隣火山の噴火の可能性は考えにくい。今後観測された場合は別。
- ※17年以上継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。対応地震が推定に近い内容で発生した場合でも被害が少ないことを祈ります。